

日大生、映画で
スポーツを考える。

映画祭

スポーツ

日大芸術学部映画学科
PRESENTS

光と影

2019
12.13金 ▶ 19木

日大芸術学部映画学科
EUROSPACE

nichigei-eigasai.com

www.facebook.com/nichigei.eigasai/

@nua_eigasai2019

主催：日本大学芸術学部映画学科映像表現・理論コース3年「映画ビジネス」ゼミ／ユーロスペース
上映協力：アークエンタテインメント／アイ・ヴィー・シー／アズミック・エース／アルパトロス・フィルム／エタンチェ／KADOKAWA
キュリオスコープ／神戸映画資料館／国立映画アーカイブ／松竹／新日本映画社／セルロイド・ドリームス／東風+gnome
東宝／日活／マッド・アイ／ファントム・フィルム／プロードウェイ／ポイント・セット／ロングライド／Park Circus

子どもの頃は夢中だったのに、気がつけば
スポーツというものにまったく関心がなくなっ
てしまった。どこかでスポーツが人間的なス
ケールを超えた巨大な『システム』になっ
てしまったからだと思う。だから、『システムと戦
うアスリート』以外にはもう映画の素材はあり
えないのではないかという気がする。

凱風館館長 内田樹

スポーツは美しい。スポーツをする人間も美
しい。しかしスポーツは、様々な醜いものとも
結びつく。暴力、しごき、パワハラ、セクハラ、
事故、薬物、金儲け、贈収賄、国威発揚、
国家主義など。それらはそれぞれの形で人
間性を破壊する。東京オリンピック礼賛
ムードが横溢する今だからこそ、我々はそれ
らを直視すべきである。

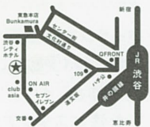
元文科事務次官 前川喜平

SCHEDULE

13日 (金)	11:30 勇者たちの休息＋ リトル・ファイター 少女たちの光と影 102分	13:50 オフサイド・ガールズ 92分	16:00 疑惑のチャンピオン 103分	18:10 破天荒ボクサー ★武田倫和監督 115分
14日 (土)	11:00 スパルタの海 105分	13:00 あなた買います ★田島良一 (日本大学芸術学部映画学科教授) 112分	15:50 競泳選手ジャン・タリス＋ 花形選手 上映前解説★古賀太 (日本大学芸術学部映画学科教授) 74分	18:20 ピンポン ★曾利文彦監督 114分
15日 (日)	11:00 おれについてこい！ 108分	13:10 オフサイド・ガールズ ★高橋諭治さん(映画ライター) 92分	16:00 長距離ランナーの孤独 ★佐藤元状さん (英文学者・慶應義塾大学法学部教授) 104分	18:40 スパルタ教育 くたばれ親父 ★村川透監督 (「スパルタ教育 くたばれ親父」助監督)) 87分
16日 (月)	11:30 セックス・チェック 第二の性 89分	13:30 あなた買います 112分	15:40 ザ・ビッグハウス 119分	18:00 ひやくはち ★森義隆監督 126分
17日 (火)	11:30 スパルタの海 105分	13:45 破天荒ボクサー 115分	16:10 ピンポン 114分	18:30 勇者たちの休息＋ リトル・ファイター 少女たちの光と影 ★菱田慶文さん (四日市看護医療大学 ムエタイ史研究家) 102分
18日 (水)	11:30 長距離ランナーの孤独 104分	13:45 ひやくはち 126分	16:20 セックス・チェック 第二の性 89分	18:30 疑惑のチャンピオン ★栗村修さん (「ツアー・オブ・ジャパン 大会ディレクター」) 103分
19日 (木)	12:00 ザ・ビッグハウス 119分	14:20 おれについてこい！ 108分	16:40 スパルタ教育 くたばれ親父 87分	18:40 プレミア上映 オリ・マキの人生で 最も幸せな日 ★トークショーあり 92分

12.13金 ▶ 19木

渋谷駅下車・Bunkamura交差点左折
ユーロスペース
EUROSPACE
TEL.03-3461-0211 www.eurospace.co.jp



前売券：1回券＝（一般・学生ともに）¥900／3回券¥2,100 | 当日券：1回券＝一般¥1,300・学生・会員・シニア¥1,100／3回券＝¥2,850 各回入替制・全席指定席

■開場はそれぞれ上映開始10～15分前です ■各曜日最初の上映開始30分前より、その日の座席指定券と引き換え／当日券の販売を開始します（現金のみ） ■劇場窓口では3日前から座席指定券が購入できます（現金のみ） ■ユーロスペース劇場HPでは3日前～各回開始1時間前まで座席指定券が購入できます（各種クレジットカードのみ。詳しくはユーロスペース劇場HPをご確認ください） ■オンライン予約は自動発券機で座席指定券をお受け取りください。上映時間直前は混雑が予想されます。お早めにお引き換えください ■前売券は3日前より劇場窓口にて座席指定券とお引き換えできます。オンラインでのご利用はできません ■やむを得ない事情により作品、上映素材、及び上映時間が変更になる場合がございます ■製作から長い年月が経っているため、お見苦しい箇所やお聞き苦しい箇所がございます ■トークショーのある上映会は予告編の上映はございません ■トークショーは変更、中止となる場合がございます

花形選手

【英語字幕付】

清水宏/1937年/日本/35mm/64分
所蔵:国立映画アーカイブ 配給:松竹

大学の陸上部に所属する関(佐野周二)は、練習嫌いにも関わらず、本番では本領を発揮する陸上部の“花形選手”。ライバルである谷(笠智衆)と勝負をしたりする中、軍事教練の訓練の途中で関は、ある女性(吉川満子)と出会う。しかし、2人で話しているところを他の部員に見つかり、騒動になってしまう。ロケーション撮影を得意とした清水宏監督ならではの生き生きした演出で、スポーツがモダンな娯楽だった時代を描く。

競泳選手 ジャン・タリス

ジャン・ウィゴ/1931年/フランス/35mm→DCP/10分
配給:アイ・ヴィー・シー

1931年、競泳400メートル自由形で世界記録を樹立した、フランスの競泳選手ジャン・タリスを撮った短編ドキュメンタリー。トリュフォーやゴダールに多大な影響を与え、29歳でこの世を去ったフランスの天才ジャン・ウィゴの第2作を4Kレストア版で上映。水中撮影やスローモーション、逆再生などの仕掛けは、後の同監督作品『アタラント号』『新学期・操行ゼロ』の原点。

あなた買います

小林正樹/1956年/日本/35mm/125分
配給:松竹

1955年、中央大で強打者として活躍した穴吹義雄が南海ホークスに入団した際、複数球団の争奪合戦が繰り広げられ大金が動いた。これを題材とした小野稔の原作を松山善三が脚色。
映画は、栗田の獲得を上司から命じられた東洋フラワーズのスカウト岸本(佐田啓二)の奮闘ぶりを描く。佐田はこの映画で毎日映画コンクール、キネマ旬報、ブルーボン賞などの主演男優賞。佐田の恋人役は岸恵子。栗田の後見人役の伊藤雄之助の怪演にも注目。

長距離ランナーの 孤独

トニー・リチャードソン/1962年/イギリス/35mm→16mm
104分/所蔵:神戸映画資料館 Courtesy:Park Circus

1960年代、イギリスの映画運動“フリースネマ”を代表する映画。
窃盗の罪で、感化院に収容されたコーリン・スミス(トム・コートネイ)は、長距離走でその圧倒的な速さを見出される。感化院を代表して走るようになったコーリンだが、彼の青春は決して“走る”ことだけに留まらなかった。イギリスの労働者階級や若者の、社会に対する反抗心を描く。イギリスの権利元に交渉をし、日本国内に保存されている16mmフィルムでの貴重な上映。

おれに ついてこい!

堀川弘通/1965年/日本/35mm/107分
配給:東宝

1964年東京オリンピックでバレーボール全日本女子の監督を務めて金メダルに導き、“鬼の大松”と呼ばれた大松博文の著書が原作。
9人制バレーを長く採用してきた日本が、6人制バレーで世界に勝つことは不可能だと思われていた。しかし1960年、日本は6人制採用からわずか2年で世界2位になる。“回転レシーブ”の特訓を受けた“東洋の魔女”こと日本代表が豪強・ソ連と戦い、世界選手権、東京オリンピックと制覇する。

リトル・ファイター 少女たちの光と影

トッド・ケルスタイン/2013年/アメリカ/Blu-ray/64分
配給:キュリオスコープ

タイの国技、ムエタイを題材にしたドキュメンタリー。タイでは伝統的な格闘技である反面、ギャンブルに使われる。そんな過酷なムエタイの世界に身を投じる2人の少女、スタムとベット。華奢な身体に鞭打ってぶつかり合う2人の姿が映し出すのは、タイの貧困層を取り巻く現状。試合に負けた選手は、一家の為に家を立てることができない。そんな状況でも、彼女たちは限られた「幸せ」を掴み取るために今日もリングに上がる。

勇者たちの休息

ギヨーム・ブラック/2016年/フランス/DCP/38分
配給:エタンチュ

『やさしい人』『女っ気なし』のギヨーム・ブラック監督の中編ドキュメンタリーで、退職後の自転車愛好家たちにスポットを当てた。
彼らはスイスからフランスにまたがる約720キロメートルの自転車観光ルートを走破しようとする。プロではないアマチュアの彼らの心情を引き出すことで、人間の生き方を探る。

セックス・チェック 第二の性

増村保造/1968年/日本/35mm/89分
配給:大映

寺内大吉の短編小説をもとに池田一朗が脚色、増村保造が映画化。
戦争により、オリンピックの夢を諦めたスプリンター、宮路司郎(緒形拳)は、南雲ひろ子(安田道代)の陸上の才能に目をつけ、自身がコーチを務める陸上部にスカウトする。「勝つためには男になれ!」と南雲を男に近づけ、猛特訓を強いる。
しかし、セックス・チェックで男女両方の生殖器を持つ半陰陽と診断されてしまう。スポーツと性の問題を描いた異色のスポ根映画。

スパルタ教育 くたばれ親父

外田利雄/1970年/日本/35mm/87分
配給:ダイニチ映配

十数年ぶりにスクリーンで上映の隠れた傑作。
家庭崩壊の危機に直面した石原裕次郎演じる田上悠三はプロ野球の審判員。
子ども5人は妻の尚子(若尾文子)に任せきり。“スパルタ”と化した姿は昭和の父親像そのものだ。石原慎太郎著『スパルタ教育』が原作で石原と若尾の夢の組み合わせはダイニチ映配ならではのキャッチコピーは「子供はシゴケ! 女房はナグれ! タルんだ親父は目をさませ! すべて型破り! 裕次郎の痛快巨編!」

スパルタの海

西河克己/1983年/日本/35mm→Blu-ray/105分
配給:アルパトロス・フィルム

映画完成後に戸塚宏校長が逮捕され、公開中止となった伝説的問題作。
愛知県にある戸塚ヨットスクールには、全国から親や学校の手にも負えなくなった少年少女たちが送り込まれている。校長からの壮絶なシゴキ、突然の仲間の死…。もう一度「まともな人間」になろうとする少年少女を描く。監督をはじめ俳優、製作陣の執念が詰まった一作。
事件から36年の月日を経て、私たちの目にはどう映るのか。

ピンポン

曾利文彦/2002年/日本/35mm/114分
配給:アスミック・エース

松本大洋の人気コミックを映画化した青春卓球映画。
卓球の才能に溢れたベコ(塚塚洋介)は、クールで笑わないスマイル(ARATA)のヒーローだった。だが、ベコは上海からの留学生であるチャイナ(サム・リー)に完敗し、インターハイではもう1人の幼馴染であるアクマ(大塚孝二)にも負ける。一方、スマイルは確実に実力をつけていく。彼らに再びインターハイの季節がやってくる。
『キネマ旬報』ベストテン9位、第26回日本アカデミー賞優秀作品賞。

オフサイド・ ガールズ

ジャファル・パナヒ/2006年/イラン/35mm/92分
配給:エスパース・サロウ Courtesy:Celluloid Dreams

現在イランで映画制作と国外移動を禁じられているパナヒ監督が普通に撮影した最後の作品。イランではイスラム教の戒律で女性がスタジアムでサッカー観戦することは禁じられている。だが、どうしても自分の目でサッカーをみたい少女達は男装してスタジアムへと潜り込もうとする。少女たちの行動は反体制だが、エンタメとして十分楽しめる。2006年ベルリン国際映画祭銀熊賞。フランスの権利元に交渉し、今回特別に上映が許可。

ひゃくはち

森義隆/2008年/日本/35mm/128分
配給:ファントム・フィルム

早見和真の同名小説の映画化。
甲子園常連の名門校、京浜高校の補欠部員雅人(斎藤嘉樹)とノブ(中村蒼)は、高校球児の夢である甲子園のグラウンドを目指す親友同士。二人揃ってベンチ入りしようとしていたが、次第に争うようになる。甲子園常連校のベンチ争いをリアルに描いた青春映画。
新藤兼人賞銀賞受賞、第30回ヨコハマ映画祭新人監督賞受賞。

オリ・マキの人生で 最も幸せな日

ユホ・クオスマネン/2016年/フィンランド=ドイツ=スウェーデン
DCP/92分/配給:プロドウェイ

1962年、世界タイトル戦に臨むフィンランドのプロボクサー、オリ・マキ(ヤルコ・ラハティ)。周囲からの期待やプレッシャーの中、大事な時期にも関わらず彼はライヤ(オーナ・アイロラ)に恋をしてしまう。国中の期待を背負うオリにとって、最も幸せな日とは?勝利なのか、それとも…。16mmフィルムのモノクロで描かれる。
第69回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門の作品賞グランプリ。来年1月公開に先立つプレミア上映。

疑惑の チャンピオン

スティヴン・フリアーズ/2016年/イギリス、フランス
DCP/103分/配給:ロングライド

深刻な癌から奇跡的に復活し、ツール・ド・フランス7連覇の偉業を成し遂げた男、ランス・アームストロング。しかし、輝かしい勝利の影に見え隠れしたのはドーピングにまつわる疑惑であった。新聞記者のデイヴィッド・ウォルシュ(クリス・オダウド)はランス(ベン・フォスター)の快挙をいち早く疑い、薬物使用の証拠を集めるべく奔走する。ウォルシュの著書『Seven Deadly Sins: My Pursuit of Lance Armstrong』に基づく衝撃の実話を『クィーン』の名匠スティヴン・フリアーズ監督が映画化。

ザ・ビッグハウス

想田和弘、マーク・ノーンズ、テリー・サリス、ミシガン大学の映画作家たち
2018年/アメリカ、日本/DCP/119分/配給:東風+gnome

全米最大のアメリカンフットボール・スタジアム、通称“ザ・ビッグハウス”を舞台にしたドキュメンタリー。最大収容人数10万人を誇るその内部は、すべてが規格外の超巨大スケール。リアルタイムで移り変わる消費と供給のサイクルの目まぐるしさに圧倒される。スポーツが生み出す熱狂を背景に、現代社会が争むさまざまな問題が可視化されるこのスタジアムの構造こそが、混沌を極めた今日のアメリカ情勢の縮図と言えるのかもしれない。「観察映画」で知られる想田和弘監督の新境地。

破天荒ボクサー

武田倫和/2018年/日本/Blu-ray/115分
配給:ノマド・アイ

ボクサー、山口賢一の日本ボクシング界との孤独な闘いを描くドキュメンタリー。
山口は11連勝を飾りつつも、不当な理由でタイトルマッチが組まれないでいた。タイトルマッチを叶えるために一人で交渉を始めた山口、しかし彼の前にボクシング界の古い常識が立ちちはだかる。
会長問題で揺れたばかりのボクシング界に新たな問題が浮かび上がる。東京ドキュメンタリー映画祭2018年、準グランプリ受賞。